

奈良県教育委員会

# 週報

第2317号

令和元年5月16日発行

# 目 次

( 件 名 )	(宛 先)	(主管課)	(頁)
令和元年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習の実施について	各市町村教委教育長 各学校(園)長	教職員課	1
令和2年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験の実施について	各市町村教委教育長 各学校(園)長	教職員課	8
「大学院修学休業制度」による休業申請手続について	各市町村教委教育長 各公立小・中学校長 各県立学校長	教職員課	25
「1日こども知事」の募集について	各市町村教委教育長 各小学校長	学校教育課	37
平成31年度における教科書展示会の開催について	各市町村教委教育長 各学校長	学校教育課	39
令和元年度奈良県図画工作・美術教育研究会総会の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	41
令和元年度第1学期奈良県算数数学教育研究発表会の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	43
第41回「少年の主張」奈良県大会～わたしの主張2019～の実施について	各市町村教委教育長 各中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	46
令和元年度奈良県中学校理科教育研究会研究総会の開催について	各市町村教委教育長 各中学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	50
管理職対象アンガーマネジメント研修会の開催について	各市町村教委教育長 各学校長	生徒指導支援室	52

令和元年度奈良県中学校体育連盟研究大会の開催について	各市町村教委教育長 各中学校長 各中等教育学校長	保健体育課	54
令和元年度奈良県小学校体育研究会前期研究大会の開催について	各市町村教委教育長 各小学校長 各特別支援学校長	保健体育課	57

(次の週報は、令和元年5月30日（木）発行の予定です。)

各市町村教委教育長 }  
各学校(園)長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習の 実施について(通知)

このことについて、下記により実施しますので、教職員にお知らせいただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 目的

教育職員免許法(昭和24年法律第147号)の規定に基づき、教職員に対し免許状取得に必要な単位を修得する機会を与え、ひいては教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

#### 2 講習会場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

#### 3 講習期間

第1講座 令和元年8月19日(月)、8月20日(火)

第2講座 令和元年8月21日(水)、8月22日(木)

#### 4 受講資格

##### (1) 幼稚園、小学校又は中学校教諭の1種免許状を取得する場合

幼稚園、小学校又は中学校教諭の2種免許状を有し、現在幼稚園、小学校又は中学校(特別支援学校の幼稚部、小学部、中学部及び中等教育学校の前期課程を含む。)に勤務している教員

##### (2) 特別支援学校教諭1・2種免許状を取得する場合

ア 幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭の免許状を有し、現在学校に勤務している教員(2種免許状を取得する場合)

イ 特別支援学校教諭2種免許状を取得した後、免許状の当該学校に勤務している教員

(3) 養護教諭 1・2 種免許状を取得する場合

養護教諭 2 種又は養護助教諭免許状を有し、現在学校に勤務している養護教員

(4) 栄養教諭 1・2 種免許状を取得する場合

管理栄養士又は栄養士の免許状を有し、現在学校等に勤務している学校栄養職員

5 対象免許状及び受講定員

免許状の種類	講座 1	講座 2
幼稚園教諭 1 種	教職	
小学校教諭 1 種	教職	
中学校教諭 1 種	教職	
特別支援学校教諭 1・2 種		特別支援教育
養護教諭 1・2 種	教職	
栄養教諭 1・2 種	教職	
受講定員	80人	80人

6 講習日程、時間、科目及び講師等

講座番号	日程	講習時間	講習科目		講師
1	8月19日(月)	9:00~17:00	教 職	教育相談の理論と 方法 2  (第4欄)	奈良教育大学  教授 市来 百合子
	8月20日(火)	9:00~17:00			
2	8月21日(水)	9:00~17:00	特 別 支 援 教 育	病弱児の医療と 心理  (第2欄)	奈良教育大学  教授 根来 秀樹 特任准教授 大西 貴子
	8月22日(木)	9:00~17:00			

7 単 位

修得単位は各科目とも1単位とし、定められた授業時数を出席し、試験その他による成績審査に合格した者に授与する。

8 受講料

徴収しない。ただし、受講に要するテキスト代及び教材費等は受講者の負担とする。

## 9 受講申込み

申込みは、郵送により行うこと。

### (1) 受講申込手続き

受講希望者は、次の書類を提出すること。

ア 令和元年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習受講申込書（別記様式1）

イ 令和元年度奈良県教育委員会教育職員免許法認定講習受講通知書（別記様式2）

ウ 返信用封筒 — 長形3号（12cm×23.5cm）糊付き封筒に82円切手を貼り、宛先を明記

### (2) 申込期限

令和元年6月14日（金）消印有効

### (3) 申込先

〒630-8502 奈良県教育委員会事務局 教職員課 人事企画係

表に「認定講習申込書在中」と明記すること。

TEL 0742-27-9805

## 10 受講者の決定

(1) 受講希望者が定員を超える場合は、現在教諭の職にある者を優先し、在職年数・既修単位数等を考慮し受講者を決定する。

(2) 特別支援教育に関する科目については、現在特別支援学校の教諭の職にある者を優先する。

(3) 奈良県内の学校勤務者を優先し、受講人員に余裕がある場合には他府県からの受講を許可する。

## 11 その他

(1) この講習に関する内容は免許法認定講習として文部科学省に認定申請中の内容であり、審査の結果、変更があり得る。その際は、後日連絡する。

(2) 特別警報等に伴う講座の取扱い他、必要事項については、受講通知の際に連絡する。

(3) 免許状取得に必要な単位数については、(別紙)を参考にすること。

(4) 受講希望者が少ない講座については、講習を中止する場合がある。

(5) 他府県で実施される認定講習の受講希望者は、奈良県教育委員会事務局教職員課人事企画係（担当 吉田・柴田）に概要を確認した上で、受講手続きをすること。

(別紙)

### 上級免許状取得のための最低修得単位数

1 小学校・中学校 1 種免許状

2 種免許状での実務年数が 12 年以上（4 年制大学卒業等の場合は、6 年以上）の場合

※ 中学校は各教科の 2 種免許状での実務年数

	教科	教職	教科又は教職	合計
小学校 1 種	1 単位	7 単位	2 単位	10 単位
中学校 1 種	3 単位	5 単位	2 単位	10 単位

2 養護教諭 1・2 種免許状

(1) 養護教諭 1 種免許状・・・2 種免許状での実務年数が 5 年以上の場合

(2) 養護教諭 2 種免許状・・・臨時免許状での実務年数が 10 年以上の場合

	養護	教職	養護又は教職	合計
養護教諭 1 種	4 単位	4 単位	2 単位	10 単位
養護教諭 2 種	4 単位	4 単位	2 単位	10 単位

3 特別支援学校教諭 1・2 種免許状

(1) 特別支援学校教諭 1 種免許状・・・特別支援学校教諭 2 種免許状取得後、特別支援学校で教員として実務年数 3 年以上

(2) 特別支援学校教諭 2 種免許状・・・幼稚園、小学校、中学校又は高等学校教諭免許状取得後、免許状の当該学校で教員として実務年数 3 年以上

免許法施行規則の科目区分	特別支援教育に関する科目				
	第 1 欄	第 2 欄	第 3 欄		
	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育領域に関する科目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	選択	合計
特別支援学校 1 種		4 単位	1 単位	1 単位	6 単位
特別支援学校 2 種	1 単位	3 単位	2 単位		6 単位
特別支援学校免許状取得のための奈良県認定講習での開講科目		病弱児の医療と心理			

#### 4 栄養教諭 1・2種免許状

- (1) 栄養教諭 1種免許状・・・管理栄養士免許取得後又は管理栄養士養成課程を修了し栄養士免許取得後、学校栄養職員としての実務年数が3年以上の場合
- (2) 栄養教諭 2種免許状・・・栄養士免許取得後、学校栄養職員としての実務年数が3年以上の場合

	栄 養	教 職	合 計
栄養教諭 1種	2単位	8単位	10単位
栄養教諭 2種	2単位	6単位	8単位

教諭又は養護教諭の普通免許状を有する者は、「栄養」に係る教育に関する科目の2単位のみで免許取得可能

※ 現在、学校等に勤務している学校栄養職員に限る。

## 別記様式 1

令和元年度奈良県教育委員会教育  
職員免許法認定講習受講申込書

勤務校・職名等	都道府県		学校名	
	職名		TEL	
現住所	(TEL )			
(フリガナ) 氏名		生年月日	年 月 日	年齢
取得希望 免許状	[ ] 教諭 [ ] 種免許状・教科又は領域 [ ] (中学校教諭免許状の場合は教科、特別支援学校教諭免許状の場合は領域 を記入すること。)			
受講希望 科目名	講座番号	科目名	講座番号	科目名
所有(基礎) 免許状	[ ] 教諭 [ ] 種免許状・教科 [ ] 取得年月日 年 月 日 (取得希望免許状の基礎となる免許状を記入すること。) 基礎となる免許状で勤務した年数 年 月(令和元年6月1日現在) (特別支援学級担任経験のある方) 年 月(令和元年6月1日現在) [ ] 免許状 取得年月日 年 月 日 (栄養教諭免許状希望者は、管理栄養士又は栄養士のいずれかを記入す ること。)			
取得希望免許状 に関して認定講 習等で既に修得 した科目名及び 単位数 (履修科目がな い場合は斜線 を引くこと)	科目名	単位数	科目名	単位数
奈良県単位台帳登録番号				
手話通訳・要約筆記の必要の有無		( )手話通訳を必要とする ( )要約筆記を必要とする		
上記教員の受講を認めます。  令和元年 月 日  学校(園)長名 <span style="float: right;">印</span>				

- (注) 1 「奈良県単位台帳登録番号」欄は、必ず記入すること。  
記入例・・・「あー354」のように記入し、初めて受講する者は「初」と記入すること。  
2 用紙はA4縦長の大きさにすること。  
3 手話通訳、要約筆記を必要とする場合は、必要な方に○印をつけること。

令和元年度奈良県教育委員会教育  
職員免許法認定講習受講通知書

勤務校	都道府県		学校名	
現住所				
氏名				
取得希望 免許状	[                    ] 教諭 [    ] 種免許状・教科又は領域 [                    ] (中学校教諭免許状の場合は教科、特別支援学校教諭免許状の場合は領域を記入すること。)			
受講希望 科目名	講座番号	科目名		許可等
				※ 許可 ・ 不許可
				※ 許可 ・ 不許可
※                    令和元年    月    日  奈良県教育委員会事務局 教 職 員 課 長				

- (注) 1 ※欄以外は本人が記入すること。  
2 用紙はA 4 縦長の大きさにすること。

教 職 第 9 5 号

令和元年5月16日

各市町村教委教育長 }  
各学校（園）長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

令和2年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験  
の実施について（通知）

このことについて、別紙のとおり行いますので、通知します。

# 令和2年度 奈良県公立学校 教員採用候補者選考試験受験案内

奈良県教育委員会

## 【受付期間】（インターネットのみ）

令和元年 5月9日（木）9:00～5月24日（金）17:00

## 【第1次試験】

令和元年 7月6日（土）（筆記試験・実技試験）

7月13日（土）～15日（月）いずれかの指定された1日（集団面接（討議））

## 【第2次試験】

令和元年 8月10日（土）・11日（日）いずれかの指定された1日（実技試験）

8月14日（水）～18日（日）いずれかの指定された1日（個人面接）

## 今年度の教員採用試験の特徴（主な変更点）

- ・2次試験で実施していた集団面接（討議）を1次試験に繰り上げて全受験者に対して実施します。
- ・障害者特別選考を実施します。
- ・小学校受験者の加点内容を一部変更しました。また、小・中学校受験者の特別支援学校教諭普通免許状への加点と、高等学校（福祉）受験者の介護福祉士資格への加点を追加しました。

## 目次

〔1〕	募集する校種等、教科等及び採用予定者数	・ ・ ・ ・ P	2
〔2〕	受験資格	・ ・ ・ ・ ・ P	3
〔3〕	選考種別及び試験内容	・ ・ ・ ・ ・ P	6
〔4〕	出願手続について	・ ・ ・ ・ ・ P	7
	1 申込期間		
	2 出願方法		
	3 出願手続の際の注意事項		
〔5〕	試験日程及び内容等	・ ・ ・ ・ ・ P	9
	1 第1次試験について		
	2 第2次試験について		
〔6〕	受験時の注意事項	・ ・ ・ ・ ・ P	12
〔7〕	選考内容及び結果発表について	・ ・ ・ ・ ・ P	13
〔8〕	名簿登載及び採用についての注意事項	・ ・ ・ ・ ・ P	14
〔9〕	大学院在学・進学者に対する特例	・ ・ ・ ・ ・ P	15
〔10〕	試験結果の開示及び過去の試験問題の閲覧等	・ ・ ・ P	15
〔11〕	加点申請	・ ・ ・ ・ ・ P	15

# 〔1〕 募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	選考区分 特別選考						令和2年度 採用予定者数		
		一般選考	教職経験	小学校英語	中高英語	社会人	大学院	障害者特別選考	小計	合計
小学校		○	○	○			○	○	120人程度	
中学校	国語	○	○				○	○	15人程度	115人程度
	社会	○	○				○	○	13人程度	
	数学	○	○				○	○	16人程度	
	理科	○	○				○	○	14人程度	
	音楽	○	○				○	○	8人程度	
	美術	○	○				○	○	8人程度	
	保健体育	○	○				○	○	12人程度	
	技術・家庭	○	○				○	○	10人程度	
	外国語(英語)	○	○		○		○	○	19人程度	
高等学校	国語	○	○				○	○	10人程度	50人程度
	地理歴史	○	○				○	○	3人程度	
	数学	○	○			○	○	○	7人程度	
	理科(物理・化学・生物)	○	○			○	○	○	7人程度	
	音楽	○	○				○	○	1人程度	
	美術	○	○				○	○	1人程度	
	保健体育	○	○				○	○	4人程度	
	外国語(英語)	○	○		○	○	○	○	11人程度	
	家庭	○	○				○	○	1人程度	
	農業	○	○			○	○	○	1人程度	
	工業(機械・電気・情報)	○	○			○	○	○	2人程度	
	商業	○	○			○	○	○	1人程度	
	福祉	○	○				○	○	1人程度	
特別支援学校		○	○				○	○	30人程度	
養護教諭		○	○				○	○	10人程度	
栄養教諭		○	○				○	○	6人程度	
実習助手	専門学科(工業・理療)	○					○		2人程度	

- 注) 1 上記いずれか一つの校種等・教科等、選考区分についてのみ受験することができます。ただし、「教職経験特別選考」は「小学校英語教育推進特別選考」又は「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」、を併せて選択することができます。
- 2 採用予定者数には、各特別選考による採用予定者数を含みます。
- 3 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない講師（常勤）とします。

## 〔2〕受験資格

選考区分には、一般選考のほか、障害者特別選考やその他の特別選考があり、次の【共通受験資格】と【個別受験資格】の両方を満たすことによってそれぞれの選考区分を選択できます。

### 【共通受験資格】

(1) 次のいずれかに該当する人

- ・ **昭和55年4月2日以降**に出生した人
- ・ 昭和44年4月2日～昭和55年4月1日に出生した人で、**平成31年3月31日現在**において過去に**3年(36月)以上の勤務実績**を有する人
  - ※ 国立学校、奈良県以外の公立学校及び私立学校での勤務実績については、出願時に実績を証明する書類の提出が必要です。提出が確認されるまでは、受験票を送信することができません。(奈良県内の公立学校における勤務実績についても一部証明が必要な場合がありますが、その際は教育委員会より連絡します。)
- ・ 昭和35年4月2日～昭和44年4月1日に出生した人で、**任期の定めのない奈良県公立学校栄養職員**として、**平成31年3月31日現在**において過去に**3年(36月)以上の勤務実績**を有する人

#### 勤務実績(月数)の計算方法

##### ア 対象

国立及び公立**学校**の教諭、私立**学校**の正規の教員、奈良県公立**学校**常勤講師(市町村費常勤講師を含む)及び実習助手(臨時的任用を含む)

※ 栄養教諭：上記に加えて奈良県公立学校栄養職員も含まれます。

実習助手：上記に加えて寄宿舎指導員(臨時的任用を含む)も含まれます。

##### イ 計算方法

- ・ 非常勤職員の期間を除きます。
- ・ 育児休業・休職・停職の期間は除算します。
- ・ 1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残り日数が15日以上の場合も1月とみなします。

(2) 受験する校種・教科等の教諭普通免許状を所有(令和2年3月31日までに取得見込を含む)し、所有する免許状の有効な状態を令和2年4月1日現在で保持できる人

ただし、実習助手及び社会人特別選考を受験する場合は、教諭普通免許状の有無は問いません。

##### ※ 実習助手

工業科に関する実務経験又は技術を有すること、または理療科に関する実務経験や技術、資格等を有することが望ましい。

##### ※ 社会人特別選考(合格後に特別免許状の申請が必要)

受験する教科の教諭普通免許状を所有しない場合は、教科に関する専門的な知識経験又は技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人

(3) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格事項のいずれにも該当しない人

(4) 県内どこにでも勤務できる人

【個別受験資格】

選考区分	資格要件等
一般選考	【共通受験資格】の要件
<p style="text-align: center;"><b>教職経験 特別選考</b> (実習助手志望者 を除く)</p>	<p>次の1, 2どちらかの条件を満たす人</p> <p>1 国立及び公立 (<b>奈良県以外</b>) 学校の任期を付さない<b>現職教諭</b>、又は私立学校の任期を付さない<b>正規の現職教員</b>で平成31年3月31日現在<b>3年(36月)以上の勤務実績</b>(育児休業・休職・停職の期間は除算)を有し、令和2年3月31日までは現職で、同年4月1日から奈良県で公立学校教諭として勤務することができる人。ただし、<u>出願時に勤務実績と現職であることが確認できる証明書類の提出が必要です。</u></p> <p>2 <b>奈良県内公立学校常勤講師</b>(市町村費常勤講師、学校栄養職員を含む)及び<b>実習助手</b>(臨時的任用を含む)として<b>直近5年間(平成26年4月1日～平成31年3月31日)で通算3年(36月)以上の勤務実績</b>を有する人(原則、<u>奈良県内の公立学校における勤務についての在職証明等の提出は必要ありませんが、一部必要な場合があります。その際には個別に教育委員会より連絡します。</u>)。</p> <p>※奈良県の現職教諭は、教職経験特別選考の対象者にはなり得ません。</p>
<p style="text-align: center;"><b>小学校 英語教育推進 特別選考</b></p>	<p>次のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>小学校と、中学校外国語(英語)又は高等学校外国語(英語)</b>の教諭普通免許状を共に所有(令和2年3月31日までに取得見込の場合を含む)</li> <li>・ <b>小学校の教諭普通免許状を所有し、出願時点で16頁[11]加点申請Hのいずれかの資格を取得</b></li> </ul> <p>取得した資格を証明できる書類のコピーを、出願時に<u>郵送</u>により提出してください。</p> <p>※ <b>小学校英語専科担当を募集するものではありません。</b> 学級担任及び英語(外国語活動)以外の教科も担当します。</p>
<p style="text-align: center;"><b>中学校・高等学校 英語教育推進 特別選考</b></p>	<p><b>出願時点において、下記の資格のうちいずれか取得している人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>実用英語技能検定</b>(日本英語検定協会) <b>1級</b></li> <li>・ <b>TOEFL</b>(国際教育交換協議会) <b>PBT600点</b>以上、若しくは同<b>CBT250点</b>以上、同<b>iBT100点</b>以上</li> <li>・ <b>TOEIC</b>(国際ビジネスコミュニケーション協会) <b>860点</b>以上</li> </ul> <p>取得した資格を証明できる書類のコピーを、出願時に<u>郵送</u>により提出してください。</p>

<p style="text-align: center;">社 会 人 特 別 選 考</p>	<p>○高等学校<b>数学、理科（物理、化学、生物）</b>を受験する場合 次の条件を満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>大学を卒業又は大学院を修了し、受験する教科に関わる研究施設、民間企業（教育事業を除く）、官公庁等（公立学校を除く）に、現在も正規職員として勤務し、3年以上の勤務実績を有する人</b></li> </ul> <p>○高等学校<b>英語</b>を受験する場合 次のすべての条件を満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>大学を卒業又は大学院を修了している。</b></li> <li>・ <b>英語を母語とする地域の出身者で、日本の研究施設や民間企業、英語教育関係等での勤務実績がある。</b></li> <li>・ <b>教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有している。</b></li> </ul> <p>※日本国籍を有しない方は、正規採用ですが「任期を付さない常勤講師」となります。また、採用後は原則として国際高校での勤務を予定しています。</p> <p>○高等学校<b>農業、工業（機械、電気・情報）、商業</b>を受験する場合 次の条件を満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>高等学校、大学を卒業又は大学院を修了し、受験する教科に関わる研究施設、民間企業（教育事業を除く）、官公庁等（公立学校を除く）に、3年以上の勤務実績を有する人。</b></li> </ul> <p>社会人特別選考の受験資格要件としての<b>勤務実績（平成31年3月31日までの常勤のみが対象）</b>には、受験する教科に係る<b>大学院や博士課程での在籍期間も含めることができます</b>。第2次試験に合格した場合にのみ、在学・在職・勤務証明書等（A4版、様式自由）の提出をさせていただきます。</p>
<p>大学院・教職大学院 特 別 選 考</p>	<p><b>平成30年度奈良県教員採用候補者選考試験合格者で、大学院・教職大学院特別選考受験承認書を受理し、令和元年度末に専修免許状取得見込の人</b></p>
<p style="text-align: center;">障 害 者 特 別 選 考</p>	<p><b>出願時点において、身体障害者手帳（1～6級）、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳（以下障害者手帳等という。）のいずれかの交付を受けている人</b></p> <p>試験内容・日時・会場等は原則同じですが、選考にあたっては一般の受験者とは別に可否を判定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 障害の状況により、受験時の配慮を希望する人は、願書の「希望する配慮事項」欄に具体的に記入してください。受験に関わる奈良県教育委員会事務局からの連絡について、電話以外の連絡方法を希望される場合も同様に、「希望する配慮事項」欄に希望する具体的な連絡方法を記入してください。</li> <li>※ 障害の状況等により、筆記試験、実技試験及び個人面接の実施方法や内容を一部変更することがあります。変更がある場合には、後日個別に奈良県教育委員会事務局から連絡します。</li> <li>※ <b>障害者手帳等については、障害の種類及び等級がわかる頁の写しを郵送（5月24日（金）までの消印有効）により提出してください。</b>また、試験当日には試験監督官の指示に従って障害者手帳等の原本を提示できるよう持参してください。</li> </ul>

### 〔3〕選考種別及び試験内容

選考種別		第1次試験				第2次試験		
		一般教養 100点	教科専門	実技試験	集団面接 (討議) 100点	実技試験	個人面接 (模擬授業を含む) 300点	
			200点	-		小 50点		
		150点	50点	中高100点				
一般選考	小学校	○	○	-	○	○	○	
	小学校以外	実技なし	○	○	-	○	○	
		実技あり	○	○	○	○	○	
	実習助手	○	-	-	○	-	○ (模擬授業なし)	
特別選考	教職経験	小学校	免除	○	-	○	○	
		小学校以外 実技なし		○	-	○	-	○
		小学校以外 実技あり		○	○	○	○	○
	小学校英語	○	○	-	○	○	○	
	中高英語	○	免除	-	○	-	○	
	社会人	個人面接に替える	○	-	○	-	○	
	大学院	免除				免除	○	
障害者特別選考	小学校	○(※)	○(※)	-	○(※)	○(※)	○(※)	
	小学校以外 実技なし	○(※)	○(※)	-	○(※)	-	○(※)	
	小学校以外 実技あり	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	○(※)	

○(※)においては、試験の実施方法や内容を変更することがあります。

- ☆ 1次・2次共に実技試験あり：中学校音楽・美術・保健体育、高等学校音楽・美術・保健体育  
2次のみ実技試験あり：小学校  
実技試験なし：上記以外の校種等・教科等
- ☆ 小学校の教科専門試験は、国語・社会・算数・理科・英語の合計200点
- ☆ 個人面接での模擬授業（実習助手以外）では、小学校英語教育推進特別選考受験者は英語の模擬授業が課されます。

## 〔4〕出願手続について

### 1 ◆◆◆ 申込期間 ◆◆◆

令和元年5月9日(木) 9:00 から 令和元年5月24日(金)17:00 まで

※ 申込締切直前は回線が大変混雑します。また、システム管理等のため一時的に利用できない場合がありますので、日程に余裕をもって申し込んでください。

※ 使用されるパソコンや通信回線上の障害等が発生した場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

### 2 ◆◆◆ 出願方法 ◆◆◆

電子申請（インターネット）でのみ受け付けます。

※ 郵送及び持参による受付は行いません。ただし、やむを得ない場合には、16 頁に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

準 備	<p>① <b>利用環境の確認</b> インターネットと電子メールを利用できるパソコンが必要となります。また、受験票・写真票を印刷するためのプリンターが必要となります。 ※ 携帯電話・スマートフォン等による申し込みは、メールの受け取りや印刷における不具合により出願できない場合がありますので、ご注意ください。 また、プリンターをお持ちでない人は、コンビニエンスストアのプリントサービスを利用するなど、各自での対応をお願いします。</p>								
申込手順	<p><b>【受験申込】</b></p> <p>② <b>奈良県ホームページ 「電子自治体」 ●古都なら（電子申請）への接続</b> <a href="http://www.pref.nara.jp/">http://www.pref.nara.jp/</a></p> <p>③ <b>手続き名で「教員採用」を選択</b> 利用者登録をされた人：利用者IDとパスワードを入力してログイン 利用者登録をしない人：「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリック ↓ 「利用規約」を必ず読み、「同意」して進んでください。</p> <p>④ <b>連絡先メールアドレスを入力し、「完了する」をクリック</b></p> <p>⑤ <b>連絡先メールアドレスに返信される申込画面のURLをクリック</b> ※ 迷惑メール対策等を行っている場合は、「pref-nara@s-kantan.com」からのメール受信が可能な設定に変更してください。</p> <p>⑥ <b>必要事項を入力後、「確認へ進む」をクリック</b> <b>申込内容を確認の上、「申し込む」をクリック</b> ※ 申込内容については、画面を印刷するなど、出願後に確認できるようにしてください。 ※ 障害等、事情により、受験に際して配慮を希望する人は、「受験上の配慮希望事項欄」に希望内容を入力してください。</p> <p>⑦ <b>受験申込完了</b> 「申請完了」画面（整理番号とパスワードが表示される画面）で、「一覧へ戻る」をクリック ※ 申込完了時には、「申込完了通知」メールが返信されます。<b>整理番号とパスワードは受験票をプリントアウトするとき必要</b>となりますので、<b>必ず控えておいてください。</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">利用者ID</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 25%;">パスワード</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>整理番号</td> <td></td> <td>パスワード</td> <td></td> </tr> </table>	利用者ID		パスワード		整理番号		パスワード	
利用者ID		パスワード							
整理番号		パスワード							

**【必要書類の送付】**

次の選考区分及び要件に該当する人は、**電子申請（インターネット）**で出願した上で、**速やかに必要な提出書類を簡易書留で郵送**してください。必要書類が確認できない場合、受験票・写真票を送信することができませんので、注意してください。

<郵送先> 〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課定数管理係（住所不要）  
 ※ 封筒の表面に「出願関係書類在中」と朱書きする。

選考区分	要件	提出書類
一般選考	生年月日が昭和44年4月2日～昭和55年4月1日で、 <b>国立及び奈良県以外の公立学校の教諭、私立学校の正規教員</b>	<b>在職証明書</b> A4判 様式自由 職名・在職期間が明記されたもの
教職経験特別選考	<b>国立及び奈良県以外の公立学校の現職教諭、私立学校の正規の現職教員</b>	
中高英語特別選考		英語資格に係る実施団体が発行する証明書のコピー
小英語特別選考	<b>中学校外国語（英語）又は高等学校外国語（英語）の教諭普通免許状を所有</b>	該当する取得免許状の写し（取得見込みの場合は、取得後速やかに提出する） 英語資格に係る実施団体が発行する証明書のコピー
社会人特別選考		<b>自己推薦文</b> （A4判） 様式自由 <b>2000字以内</b>
大学院特別選考		<b>大学院・教職大学院特別選考受験承認書</b>
障害者特別選考		<b>障害者手帳等の障害の種類及び等級がわかる頁の写し</b>

**【受験票・写真票の交付】**

⑧ **連絡先メールアドレスに受験票・写真票を添付したメールを送信**  
 6月10日（月）送信予定

※ 6月12日（水）までに受験票・写真票を添付したメールが届かない場合は、16頁に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

⑨ **自分の整理番号とパスワードを入力し、受験票・写真票をダウンロードし、印刷**

**【写真票および結果通知用封筒の郵送について】**

⑩ **写真を貼り付けた写真票（※1）を折らずに角3封筒（216mm×277mm）に入れ、6月21日（金）必着で教職員課宛てに書留郵便で郵送**してください。

※ 写真票の写真は、**申込日前3か月以内**に撮影したもので「縦4～4.5cm、横3～3.5cm、上半身、脱帽、正面向き」のものに限ります。また、写真の裏面には、氏名、受験校種等・教科等を記載してください。

**受験票にも、写真票に貼り付けた写真と同じものを貼り、第1次試験当日には必ず持参**してください。

### 3 ◆◆◆ 出願手続の際の注意事項 ◆◆◆

- (1) 出願内容等の取り扱い  
 出願受付段階では、個々のすべての受験資格要件を確認することはできません。受験資格要件を満たしていないことや、虚偽の記載があることが後日判明した時点で失格となることがありますので、各自で十分確認し、出願してください。
- (2) 出願内容に対する確認  
 出願内容について確認したいことがある場合には、**奈良県教育委員会事務局教職員課(0742-27-9852)**より電話で連絡する場合があります。特に**携帯電話などで着信拒否設定がされている場合には、連絡が受け取れるように設定**してください。  
**連絡が取れない場合や指定する期日までに修正に応じない場合等には、理由の如何を問わず、出願が無かったものとして取り扱う場合があります。**
- (3) 重複出願  
**同一人物から複数の出願が行われた場合(重複出願)は、出願の全てを無効とします。**いずれの出願についても一切受理しません。ただし、出願期間内(令和元年5月24日17:00まで)であれば、出願を取り下げることは可能です。申請画面から不要な出願は取り下げてください。もし、取り下げの処理ができない場合は、16頁に記載の問い合わせ先まで連絡してください。出願期間締切後は、理由の如何を問わず、出願を取り下げることはできません。
- (4) 受験が認められない場合でも、提出された書類は返却しません。

## 〔5〕 試験日程及び内容等

### 1 ◆◆◆ 第1次試験について ◆◆◆

#### 1 試験日程について

	一般選考			教職特別選考			小英語特別選考	中高英語特別選考	社会人特別選考	障害者特別選考	配点	
	実習助手	小学校 中高(実技無) 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	中高 (実技有)	小学校 中高(実技無) 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	中高 (実技有)							
第1次試験	7月6日(土) 試験説明 開始 8:50	午前	一般教養 <マーク>	一般教養 <マーク>	一般教養 <マーク>		一般教養 <マーク>	一般教養 <マーク>	個人面接	一般教養 <マーク>	100点	
	試験開始 9:15	午後		教科専門	教科専門	教科専門 (※)	教科専門 (※)	教科専門		教科専門	教科専門	200点 (実技有 150点)
					実技試験		実技試験				実技試験 (実技有教科の場合)	50点
	7月13日(土) ～15日(月) の指定された 日時	全日	集団面接(討議)								100点	

- 6月10日(月)11:00頃 に **教職員課ホームページ** で、筆記試験の会場(県立高等学校)、及び各種等、教科ごとの集団面接実施日をお知らせする予定です。
- 各受験者の具体的な集団面接の開始時間は、7月11日(木)11:00頃 に **教職員課ホームページ** でお知らせする予定です。

(※)教職経験特別選考受験者は、一般教養試験が免除されているため、7月6日(土)の日程は下記のとおりです。  
 受付開始時刻 午前10時00分(会場の都合上、午前10時00分より早く試験会場には来ないでください。)  
 筆記試験説明開始 午前10時45分  
 筆記試験開始時刻 午前11時10分 ①筆記試験開始後20分までに試験会場に入室しなかった場合は、受験できません。

## 2 試験内容について

試験内容	実施方法	出題内容等
一般教養	マークシート	教職教養と時事問題を出題し、マークシートで解答します。
教科専門	筆記	<p>小学校と、中学校及び高等学校の国語、社会、数学、理科、外国語（英語）、音楽、保健体育、及び特別支援学校と養護教諭、栄養教諭では、マークシートで解答する問題があります。</p> <p>小学校の英語、中学校及び高等学校の外国語（英語）は、リスニング問題を含みます。</p> <p>高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出題範囲とする共通問題（全員解答）と選択問題（2領域を選択し、それぞれ解答）を出題します。</p> <p>※ 選択問題… 地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選択する。 理科は出願時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択する。</p>

## 3 実技試験について

校種等	教科等	課題及び持参物等
中学校 高等学校	音楽	<p>《ピアノによる弾き歌い》</p> <p>下記の①～③のうち、当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて主旋律を歌唱します。</p> <p>※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。</p> <p>※ 調及び使用する伴奏譜については、特に指定しません。</p> <p>※ 生徒がいることを想定して演奏すること</p> <p>① 「浜辺の歌」 林 古溪 作詞 / 成田 為三 作曲 ② 「花」 武島 羽衣 作詞 / 滝 廉太郎 作曲 ③ 「夏の思い出」 江間 章子 作詞 / 中田 喜直 作曲</p>
中学校 高等学校	美術	<p>《鉛筆による素描》</p> <p>素描に使用する用具、画板を持参してください。</p>
中学校 高等学校	保健 体育	<p>器械運動（マット運動）、球技（ゴール型：バスケットボール）</p> <p>※ 運動着、体育館用運動靴を持参してください。</p>

#### 4 第1次試験受験当日の持参物について

- (1) 受験票
- (2) 加点申請をした人は、申請に必要な書類のコピー（それぞれの書類の右下に受験番号を記入）
- (3) 筆記用具（鉛筆等）、消しゴム、上履き、靴入れ、実技試験に必要なもの  
※一般教養試験のほか、教科専門試験においてもマークシート形式で解答する場合があります。
- (4) **結果通知用封筒1通**（長3：120mm×235mmの定形のり付き封筒に**92円切手**を貼り、**宛先**（受験者住所及び氏名）を記入し、封筒表面**右下**には**受験番号**も記入してください。

## 2 ◆◆◆ 第2次試験について ◆◆◆

### 1 試験日程について

一般選考、教職経験特別選考、社会人特別選考、障害者特別選考は、選考種別ごとに下記のような日程で行います。

	小学校	小 英語 特別選考	小学校 配点	中学校 高等学校 (実技無) 右記以外の教科	中学校 高等学校 (実技有) 中:音楽・美術 ・保健体育 高:音楽・美術 ・保健体育	特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	小学校 以外の 配点	実習助手	実習助手 配点
第2次試験	8月10日 (土)	実技試験 音楽・体育		50点					
	11日 (日)				実技試験		100点		
	14日 (水) ～ 18日 (日)	個人面接 模擬授業 を含む	個人面接 英語の 模擬授業 を含む	300点	個人面接 (模擬授業を含む) ※中学校及び高等学校外国語(英語) 受験者は、英語による質問があります。		300点	個人面接	300点
<p>○ 模擬授業の課題は、<b>7月19日(金)11:00頃</b>に<b>教職員課ホームページ</b>でお知らせする予定です。</p> <p>○ 上記以外の第2次試験に関わる内容(試験会場&lt;県立高等学校&gt;、実技試験の班編制及び個人面接の日時等)は、<b>8月5日(月)11:00頃</b>に<b>教職員課ホームページ</b>でお知らせする予定です。</p>									

### 2 実技試験について

校種等	教科等	課題及び持参物等
小学校	音楽	<p>《歌唱》</p> <p>下記の①～③のうち、当日指示する曲（楽譜は試験場に用意）を無伴奏で歌唱します。</p> <p>① 「うさぎ」 日本古謡</p> <p>② 「とんび」 葛原 しげる 作詞 / 梁田 貞 作曲</p> <p>③ 「ふじ山」 文部省唱歌 巖谷 小波 作詞</p>

小学校	音楽	<p>《器楽演奏》</p> <p><b>電子</b>ピアノ、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカの中から各自選択し、任意の曲を演奏します。</p> <p>※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。</p> <p>※ <b>電子</b>ピアノ以外の楽器は各自持参してください。</p>
	体育	<p>器械運動（マット運動）、水泳（クロール）、</p> <p>ボール運動（ゴール型）及び走・跳の運動（小型ハードル走等）</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p>
中学校	音楽	<p>《箏の演奏》（楽譜を持参し、見てもかまいません。）</p> <p>箏を平調子に調弦し、「六段の調（初段）」を演奏する。</p> <p>※ 5分以内で調弦した後に演奏すること。</p> <p>※ 爪は各自持参してください（流派は問いません）。</p> <p>※ 調子笛等の持ち込みは禁止します。</p> <p>《ピアノによる弾き歌い》</p> <p>当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて歌唱します。</p>
高等学校	美術	<p>《水彩による表現》</p> <p>水彩画に使用する用具、画板を持参してください。画架の持参は自由です。</p>
	保健 体育	<p>武道（柔道又は剣道を選択）、水泳（背泳ぎ、平泳ぎ、クロール）、</p> <p>陸上競技（ハードル走）、ダンス（現代的なリズムのダンス）</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p>

## 〔6〕 受験時の注意事項

- (1) **試験場への自動車、二輪車、自転車の乗り入れ及び周辺道路上、コンビニ等周辺施設への駐車は厳禁**です。また、自動車やタクシーでの送迎も禁止します。
- (2) 障害があり、試験会場への自動車等の乗り入れや受験に際して配慮を希望する人は、「受験上の配慮希望事項欄」に具体的に記入してください（記入した内容により、第1次試験終了後に個人面談を実施する場合があります。実施の有無は後日連絡します）。
- (3) 試験を欠席した時点で辞退として取り扱いますので、連絡は不要です。筆記試験においては**試験開始後20分までに試験会場に入室しなかった場合、面接においては集合時刻に集合場所にいない場合は、欠席とみなします。**
- (4) 受験者が試験日時の希望や変更をすることはできません。また、受験すべき試験等を一つでも受験しなかった場合は、その後に実施する試験等を受験することはできません。
- (5) 試験会場への電話等で問い合わせについては、一切受け付けることができません。
- (6) 不正行為があった場合は、受験することができません。
- (7) 試験場の敷地内においては、ICレコーダーやスマートフォン、携帯電話、タブレット端末等、録音・録画・通信・通話のできる電子機器の使用を禁止します。また、電卓等の計算機やスマートウォッチ、計算機能のついた時計の使用はできません。試験中に身につけていた場合には、失格となる不正行為とみなし、以後の試験を受験することはできません。
- (8) 試験会場敷地内は禁煙です。
- (9) 暑さ対策のため、**上着・ネクタイの着用は特に必要ありません。**

(10) **今後のお知らせ**は、**奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページに掲載**しますので、注意深く確認してください。 ホームページアドレス (<http://www.pref.nara.jp/1695.htm>)

(11) 台風などの非常災害時にやむを得ず選考日程等を変更する場合は、奈良県教育委員会事務局教職員課のホームページでお知らせします。ホームページを確認の上、対応してください。

## 〔 7 〕 選考内容及び結果発表について

### 1 選考内容

		評 価 の 内 容	選考基準
1 次 試 験  筆 記	一般教養	○教職教養・時事問題に関して児童・生徒を指導する上で必要な知識や理解及び教員として求められる資質能力を問う。	○全ての試験及び加点の合計点を基に総合的に判定する。  ○各試験には、それぞれ合格基準があり、合計得点が上位であっても基準に達しないものがある場合は不合格となる。
	教科専門	○各校種・教科において児童・生徒を指導する上で必要な教科専門の力量があるかを問う。	
1 次 試 験	中高音楽	＜ピアノによる弾き歌い＞ ○ピアノによる弾き歌いを行い、歌唱指導に関して必要な技能を問う。	
	中高美術	○静物画を制作し、美術の指導に関して必要な表現の技能を問う。	
実 技	中高 保健体育	○中・高等学校での指導する各領域（種目）の基本的な技能の習得状況及び態度・姿勢を問う。	
1 次 試 験  面 接	集団面接 (討議)	○教員としての職務を遂行するのにふさわしい能力・適性をもった人物を選考する。  ○集団面接（討議）では集団の中で発揮される資質や能力を評価する。 ①客観的分析力                      ②論理的思考力 ③対人関係能力・協調性          ④説得力	
2 次 試 験  実 技	小学校 音楽	○小学校の音楽授業において指導する歌唱、器楽の基本的な技能を問う。	○受験した試験の合計得点を基に総合的に判定する。
	小学校 体育	○小学校の体育授業において指導する主な領域（種目）の基本的な技能の習得状況及び態度・姿勢を問う。	
	中高音楽	＜箏の調弦・演奏＞ ○箏の演奏を通して、音楽の授業において指導する基本的な技能を問う。  ＜ピアノによる弾き歌い＞ ○コードネームの理解と読譜力、即興演奏の技能を問う。	
	中高美術	○静物画を制作し、美術の指導に関して必要な表現の技能を問う。	
	中高 保健体育	○中・高等学校での指導する各領域（種目）の基本的な技能の習得状況及び態度・姿勢を問う。	

2 次 試 験	模擬授業	○教員としての職務を遂行するのにふさわしい資質・能力・適性をもった人物を選考する。 ○生徒を引きつける魅力と授業力に優れた人物を選考する。 ①表情・姿勢・態度 ②表現力・的確な対応 ③専門的知識・理解 ④指導方法・創意工夫
	面接	○教員としての職務を遂行するのにふさわしい資質・能力・適性をもった人物を選考する。 ○自立した社会人としての豊かな人間性、教育者としての識見、資質・適性等、総合的に優れた人物を選考する。 ①自立した社会人としての豊かな人間性 ②自己成長に向けた探究心 ③問題解決や社会の変化に柔軟に対応できる能力 ④教育者としての識見・資質・適性

## 2 結果発表

**第1次試験の結果は8月1日(木)、第2次試験の結果は9月13日(金)10:00頃**に教職員課ホームページに掲載し、また、それぞれ本人宛にも通知します。ただし、電話等での問い合わせに応じることができません。

1次試験の不合格者及び2次試験の合格者・不合格者には、総合得点と順位を結果通知書に記載します。

## 3 合格後の手続

社会人を対象とした特別選考受験者で第2次試験に合格した場合は、**在職・勤務証明書等**(A4判、様式自由)を提出してください。また、特別免許状の授与を受けることが必要です。

## 4 合格通知後であっても、第1次試験及び第2次試験で不正が発覚した場合、合格を取り消します。

# 〔8〕名簿登載及び採用についての注意事項

- (1) 合格者は、奈良県教育委員会の指定する健康診断書を提出し、適当と認められないときは採用されない場合があります。
- (2) 適当と判断された人は、奈良県公立学校教員採用候補者名簿に1年間登載され、原則として令和2年4月1日に採用されます。
- (3) 採用とは、地方公務員法第22条に基づく条件附採用であり、教員として1年間(養護教諭及び栄養教諭、実習助手は6月間)を勤務し、その間、職務を良好な成績で遂行したときに初めて正式採用となります。
- (4) 名簿登載期間中に、次の事項に該当する場合は、名簿から削除します。
  - ・ **3頁〔2〕受験資格の要件を満たさないことが判明した場合**
  - ・ **願書に虚偽の記載**があったり、教員としてふさわしくない事実が明らかになった場合

## 〔9〕 大学院在学・進学者に対する特例

専修免許状を取得できる大学院修士課程又は教職大学院（以下「大学院等」という。）に、令和元年度に修学中の人は1年間、令和2年度から修学する人は2年間、名簿登載期間を延長します。  
ただし、名簿登載期間の延長には、次の条件を満たす必要があります。

- (1) 令和2年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験に合格後、**令和元年12月25日（水）**（当日消印有効）までに、次の書類を奈良県教育委員会事務局教職員課へ郵送すること。
  - ・採用猶予申請書（合格発表後に教職員課ホームページに掲載）
  - ・大学院等に修学している（する）ことを証明する書類
- (2) 猶予期間終了までに、大学院修士課程を修了すること。
- (3) 猶予期間終了までに、令和2年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験で合格した校種等・教科等の専修免許状を取得すること。

## 〔10〕 試験結果の開示及び過去の試験問題の閲覧等

### 1 試験結果の開示

試験の結果（総合得点・順位及び各試験の得点）について、奈良県個人情報保護条例に基づき、口頭による開示を請求することができます。受験者本人以外からの請求、電話やはがきによる請求では開示できません。

請求できる人	開示内容	開示期間	時間	持参物	開示場所
第1次試験 不合格者	各試験の点数 総合得点 順位	第1次試験 結果発表日 から1か月間	開庁日の 午前9時から 午後5時まで	○ 受験票 ○ 本人を証明できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証など）	奈良県教育委員会 事務局教職員課 (奈良県庁東棟2階)
第2次試験 受験者	各試験の点数 総合得点 順位	第2次試験 結果発表日 から1か月間	結果発表日は 午前10時15分から		奈良市登大路町30 電話0742-27-9852

### 2 過去の試験問題の閲覧等

平成27年度から平成31年度の第1次試験筆記試験（一般教養試験、教科専門試験）の問題及び解答、第2次試験面接試験（集団面接討議テーマ、模擬授業課題）は、奈良県庁東棟1階県政情報センター（0742-27-8348）で閲覧及びコピー（有料：1枚10円）することができます。

利用時間は、土・日・祝日及び年末年始の休日を除く開庁日の午前9時から午後5時までです。

※ なお、著作権許諾の関係で、一部閲覧できない箇所があります。

## 〔11〕 加点申請

- 1 次のA～Iに該当する人については、「**加点申請**」することにより**第1次試験に限り**加点します。**障害者特別選考は一般選考と同様に加点の対象**となりますが、第1次試験が一部免除となる**教職経験特別選考**および**社会人特別選考、中・高英語特別選考**を受験する場合には、**加点はありません**。

※ A～Fに限り、令和2年3月31日までに取得見込みの人を含みます。

区分	受験する校種等(教科等)	選考種別	加点対象となる内容	加点点	申請番号	提出物
A	小学校	一般選考	小学校及び中学校「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」「保健体育」のいずれかの教諭普通免許状を共に所有 又は	6点	①	願書の加点申請欄で申請した免許状等のコピー 小学校 教諭普通免許状 中学校 教諭普通免許状 高等学校 教諭普通免許状 特別支援学校 教諭普通免許状 司書教諭講習 修了証書 介護福祉士登録証
			小学校及び中学校「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかの教諭普通免許状を共に所有	10点	②	
		小英語特別選考	小学校及び英語以外の中学校教諭普通免許状を共に所有 又は	6点	③	
			小学校及び英語の中学校教諭普通免許状を共に所有	10点	④	
B	中学校	一般選考	次のいずれかに該当 ・小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有 ・「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む 中学校教諭普通免許状を複数所有	6点	⑤	
C	中学校	一般選考	司書教諭の資格(文科省発行の修了証書)を所有	6点	⑥	
D	小学校 中学校	一般選考	受験する校種、教科等の教諭普通免許状と「特別支援学校」の教諭普通免許状を所有	6点	⑦	
E	高等学校	一般選考	受験する教科等の高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有	6点	⑧	
F	高等学校(地理歴史)	一般選考	「地理歴史」と「公民」の高等学校教諭普通免許状を共に所有	6点	⑨	
G	高等学校(福祉)	一般選考	「介護福祉士」の資格を所有	6点	⑩	
H	小学校	一般選考	次のいずれかの資格を取得 ・実用英語技能検定(日本英語検定協会)準1級以上	6点	⑪	実施団体が発行する資格証明書のコピー
		小英語特別選考	・TOEFL(国際教育交換協議会)PBT550点以上 ・ " CBT213点以上 ・ " iBT 80点以上	10点	⑫	
	中学校(英語) 高等学校(英語)	一般選考	・TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上(公開テストに限る)		⑬	
I	全校種等 教科等	一般選考 小英語特別選考	次のいずれかの資格を所有  臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士	6点	⑭	資格証明書のコピー

※表中の校種・教科や選考種別を、障害者特別選考として受験する場合についても同様に加点を申請することができます。

- 上記区分A～Iにおいて、異なる区分については複数加点申請することはできませんが、同一区分内では複数の加点申請を行うことはできません。
- 加点申請は、出願時、①～⑭の「加点申請番号」を選択して申請してください。
- 加点申請した人は、上記の提出物を7月6日(土)に試験会場に持参してください。
- A～Fを取得見込みで採用試験に合格した人は、取得後に必ず免許状等のコピーを奈良県教育委員会事務局教職員課まで持参してください。

**提出しない場合、又は、取得見込みで受験し、令和2年3月31日までに取得できなかった場合、加点が無効となり、採用内定を取り消すことがあります。**

<問い合わせ先>

奈良県教育委員会事務局教職員課定数管理係  
TEL 0742-27-9852 (直通)

各市町村教委教育長 }  
各公立小・中学校長 } 殿  
各県立学校長 }

奈良県教育委員会教育長

## 「大学院修学休業制度」による休業申請手続について（通知）

このことについて、平成13年4月1日施行の「大学院修学休業実施要綱」に基づき、専修免許状を取得するため大学院入学を令和元年度中に志願する教員がいる場合、別紙『大学院修学休業制度』による教員の大学院研修に関する留意事項を参考にし、下記事項に留意の上必要書類を取りまとめ提出願います。

### 記

#### 1 提出書類

(1) 市町村立（組合立）学校の教員（県費負担教員に限る。）の場合

ア 受験同意願（第1号様式）

イ 学校長副申（第2号様式）

ウ 協議書（第3号様式）

(2) 県立学校の教員の場合

ア 受験同意願（第1号様式）

イ 学校長副申（第4号様式）

#### 2 提出先

奈良県教育委員会事務局教職員課

#### 3 提出期限

受験する大学院の出願受付期間の初日の1か月前まで（外国の大学の場合は、2か月前まで）

#### 4 備考

(1) 取得しようとする専修免許状に係る基礎となる免許状の所有を確認すること。

- (2) 各大学大学院の募集要項等については志願者各自で入手させること。
- (3) 受験同意及び休業許可手続等については、別添留意事項を参照すること。
- (4) 外国の大学院における専修免許状取得については、単位認定が必要であるため事前に  
県教育委員会へ相談すること。
- (5) 問合せ先

奈良県教育委員会事務局教職員課定数管理係（担当 甲元）

TEL 0742-22-1101（内線 5239）

0742-27-9852（直通）

FAX 0742-24-7256

<別紙>

## 「大学院修学休業制度」による教員の大学院研修に関する留意事項

平成13年4月1日施行の「大学院修学休業実施要綱」に基づき、教員が大学院を受験しようとする場合は、次の各点に留意して、手続をしてください。

### 1 資格

次の①～③のいずれにも該当する主幹教諭、教諭、養護教諭及び栄養教諭

- ① 申請時において、県内公立学校における3年以上の教諭としての勤務経験を有し、かつ、定年退職日までに5年以上の期間を有する者
- ② 各大学の大学院募集要項に規定される資格を有する者
- ③ 取得しようとする専修免許状に係る基礎となる免許状を既に所有し、専修免許状を新たに取得しようとする者

### 2 入学志願者の受験等に際する同意及び修学休業許可を得るための手続

- ① 市町村立（組合立）学校の教員（県費負担教職員に限る。）の場合
  - ・受験しようとする者は、受験同意願（第1号様式）及び学校長副申（第2号様式）を市町村教育委員会教育長に提出する。市町村教育委員会教育長は、協議書（第3号様式）に上記書類を添付して県教育委員会教育長に提出し、受験同意を得る。
  - ・同意を受けた受験者は、試験の結果を、合否の如何に関わらず、速やかに大学院等受験結果報告書（様式任意、通知書写し添付）により、市町村教育委員会教育長を通じ、県教育委員会教育長に報告する。
  - ・合格者は、速やかに修学休業許可申請書（第5・6号様式及び「大学院修学休業許可申請について（内申）」）を、市町村教育委員会教育長を通じ、県教育委員会教育長に提出する。
- ② 県立学校の教員の場合
  - ・受験しようとする者は、受験同意願（第1号様式）及び学校長副申（第4号様式）を県教育委員会教育長に提出し、受験同意を得る。
  - ・同意を受けた受験者は、試験の結果を、合否の如何に関わらず、速やかに大学院等受

験結果報告書（様式任意、通知書写し添付）により、学校長を通じ、県教育委員会教育長に報告する。

- ・合格者は、速やかに修学休業許可申請書（第5・7号様式）を、学校長を通じ、県教育委員会教育長に提出する。

### 3 受験同意

次のいずれかに該当する場合は、県教育長は、同意願出者が試験を受けることに同意しないものとする。

- ① 同意願出者の履修しようとする大学院の課程等が、当該履修により専修免許状の授与を可能とするような形態になっていないとき。
- ② 大学院の課程等に係る在学形態が、当該同意願出者の本来の勤務と両立するものであるとき。
- ③ 職務を通じて培った課題意識を基にして大学院の課程等において専門的な研究に従事することにより、その資質を高め、その研究の成果を学校教育に還元するという研修意欲が、当該同意願出者において不十分であると認められるとき。
- ④ 休業を許可することによって、学校運営、人事管理等における著しい支障が生じるものと認められるとき。

### 4 その他

- ① 大学院修学休業期間は、原則として2年以内で年を単位とする。
- ② 大学院修学休業期間内において休職・停職処分を受けた場合や、休学・退学、あるいは頻繁な授業欠席等研修状況に変化があった場合は、大学院修学休業許可の失効、取り消し等必要な措置をとる。

(第1号様式)

## 大学院修学休業のための大学院等受験同意願

年 月 日

〇〇〇教育委員会教育長 殿

所属校名

職名 氏 名 印

教育公務員特例法第5章の規定に基づく大学院修学休業をするために、下記のとおり、大学院の課程等に係る入学者選抜試験を受けたいので、受験に同意くださいますようお願いいたします。

### 記

1 受験しようとする大学院の課程等

(1) 名称

(2) 所在地

(3) 履修予定内容

(4) 入学者選抜試験

① 出願期間 年 月 日 から 年 月 日 まで

② 試験実施日 年 月 日 から 年 月 日 まで

③ 受験結果(合否)判明日 年 月 日

2 大学院修学休業期間 年 月 日 から 年 月 日 まで  
( 年間)

3 現在所有している免許状の種類及び当該免許状使用期間(受験年度末日現在)

所 有 免 許 状	使 用 期 間
	年
	年
	年

4 取得しようとする専修免許状の種類 [ ]

5 添付書類

① 上記3の免許状の写し(両面コピーで校長の原本証明を受けたもの)

② 履歴書

③ 受験しようとする大学院の課程等に関する資料

6 その他特記事項

(第2号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

市町村教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

### 大学院修学休業のための大学院等受験同意について（副申）

このことについて、年 月 日付けで下記教員から別添のとおり、大学院等受験同意の願い出がありましたので、下記のとおり副申します。

#### 記

##### 1 受験志願者氏名等

職 名	氏 名	年 齢	経 験 年 数	現 任 校 勤 務 年 数	所 有 免 許 状 及 び そ の 使 用 期 間	校 務 分 掌 等
					年	
					年	

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

##### 2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

##### 3 学校運営上の支障の有無

##### 4 学校長所見

(第3号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

市町村教育委員会教育長名 印

### 大学院修学休業のための大学院等受験同意について（協議）

下記の教員が大学院修学休業のための大学院等の受験を志願しております。受験することに同意したいので、協議します。

#### 記

##### 1 受験志願者氏名等

所属学校名	職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間
						年
						年

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

##### 2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

##### 3 所 見

##### 4 勤務状況

##### 5 健康状況

(第4号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

### 大学院修学休業のための大学院等受験同意について（副申）

このことについて、年 月 日付けで下記教員から別添のとおり、大学院等受験同意の願い出がありましたので、下記のとおり副申します。

#### 記

##### 1 受験志願者氏名等

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状及びその使用期間	校務分掌等
					年	
					年	

(年齢及び経験・勤務年数・使用期間：受験年度末日現在)

##### 2 受験を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	試験日	合格発表日

##### 3 学校長所見

(第5号様式)

# 大学院修学休業許可申請書

年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

申請者 所 属 名 \_\_\_\_\_  
職 名 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり、大学院修学休業の許可を申請します。

## 記

- 1 現在所有している免許状の種類 [ ]
- 2 取得しようとする専修免許状の種類 [ ]
- 3 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	入学予定日	備 考

- 4 休業予定期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年間
- 5 過去に大学院修学休業を取得した期間  
(有・無) \_\_\_\_\_ 年 月 日 から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで
- 6 履歴 (別添 履歴書のとおり)

(第6号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

市町村教育委員会教育長 殿

学校長 氏 名 印

### 大学院修学休業許可申請について（副申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、副申します。

#### 記

##### 1 大学院修学休業申請者

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	校務分掌等

(年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在)

##### 2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

##### 3 学校長所見

(第7号様式)

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

県 立 学 校 長 名 印

### 大学院修学休業許可申請について（副申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、副申します。

#### 記

##### 1 大学院修学休業申請者

職 名	氏 名	年 齢	経 験 年 数	現 任 校 勤 務 年 数	所 有 免 許 状

(年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在)

##### 2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

##### 3 学校長所見

文 書 番 号  
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

市町村教育委員会教育長名 印

### 大学院修学休業許可申請について（内申）

このことについて、下記の者が大学院修学休業を申請しておりますので、内申します。

#### 記

##### 1 大学院修学休業申請者

職名	氏名	年齢	経験年数	現任校勤務年数	所有免許状

（年齢及び経験・勤務年数：休業開始年4月1日現在）

##### 2 修学を予定している大学院等及び専攻コース等

大学院等及び専攻コース	取得予定専修免許状の種類	入学日	修学予定期間

##### 3 教育長所見

各 市 町 村 教 委 教 育 長 }  
各 小 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 「1日こども知事」の募集について（通知）

このことについて、下記のとおり「1日こども知事」の募集を行いますので、応募についてよろしくをお願いします。

### 記

#### 1 目 的

県庁などで行っている公の仕事に興味をもっている児童や、将来知事や市町村長になりたいという児童に、奈良県政に対する興味や奈良に対する愛着を深めてもらうとともに、次代を担う児童の純粋な夢を育む。

#### 2 主 催

奈良県、奈良県教育委員会

#### 3 実施日時

令和元年8月上旬頃

開催日時は5月下旬頃、政策推進課ホームページに掲載予定

URL <http://www.pref.nara.jp/46504.htm>

#### 4 実施場所

奈良県庁 奈良市登大路町30番地

#### 5 募集対象及び人数

県内に在学する小学5・6年生 10名程度

#### 6 日 程

9:50～10:20 オリエンテーション

10:20～10:35 「1日こども知事」任命書交付

10:35～11:20 就任挨拶

- 11：20～12：10 模擬記者会見
- 12：10～13：00 荒井知事と昼食・会談
- 13：10～14：20 執務体験
- 14：20～14：30 記念撮影・記念品贈呈

## 7 応募について

### (1) 応募方法

「知事になったら、こうしたい」をテーマにした作文（原稿用紙400字程度）を作成し、小学校名、学年、氏名を記入の上、学校を通じて奈良県総務部知事公室政策推進課まで持参又は郵送すること。

### (2) 募集締切

令和元年6月7日（金）必着

### (3) 選考方法

応募者が募集人数を超えた場合は、選考を実施する。その場合、アイデアや文章の表現力等で選考する。

### (4) 結果通知

学校を通じて通知する（7月上旬予定）。その際、応募作文は返却する。

## 8 問合せ先、応募先

〒630-8501 奈良市登大路町30番地

奈良県総務部知事公室政策推進課 政策推進係（担当：田中）

TEL 0742-27-8472

## 9 その他

実施当日は、教員又は保護者の方の同伴が必要。ただし、会場の都合上、同伴は2名までとする。

教 学 第 1 6 4 号

令 和 元 年 5 月 1 6 日

各 市 町 村 教 委 教 育 長 }  
各 学 校 長 } 殿

奈 良 県 教 育 委 員 会 教 育 長

### 平 成 3 1 年 度 に お け る 教 科 書 展 示 会 の 開 催 に つ い て ( 通 知 )

こ の こ と に つ い て 、 別 表 の 教 科 書 セ ン タ ー 及 び 教 科 書 セ ン タ ー 分 館 に お い て 、 令 和 元 年 6 月 1 4 日 ( 金 ) か ら 7 月 1 2 日 ( 金 ) ま で の 間 実 施 し ま す の で 、 関 係 者 に お 知 ら せ く だ さ る と と も に 、 教 科 書 研 究 に つ い て よ ろ し く お 願 い し ま す 。

別表

## 奈良県教科書センター一覧表

(H31.4.1)

地区	名 称 (利用施設名)	所 在 地 電話番号	教科書の種類
第1	奈良教科書センター (奈良市教育センター)	奈良市三条本町13-1 0742-36-0401	小・中・特
第2	大和郡山教科書センター (大和郡山市立図書館)	大和郡山市北郡山町211-3 0743-55-6600	小・中
第3	生駒市教科書センター (生駒市図書館)	生駒市辻町238 0743-75-5000	小・中
第4	生駒郡教科書センター (三郷町立図書館)	生駒郡三郷町勢野西1-4-4 0745-33-3030	小・中
第5	天理教科書センター (天理市教育総合センター)	天理市勾田町109-1 0743-63-0316	小・中
第6	山辺教科書センター (山添村立やまぞえ小学校)	山辺郡山添村春日1770-1 0743-85-0200	小・中
第7	宇陀市教科書センター (宇陀市立中央図書館)	宇陀市榛原萩原2610-1 0745-82-4749	小・中
第8	宇陀郡教科書センター (御杖村教育委員会事務局)	宇陀郡御杖村大字菅野368 0745-95-2004	小・中
第9	橿原教科書センター (橿原市立図書館)	橿原市小房町11-5 0744-29-2121	小・中
第10	桜井教科書センター (桜井市立図書館)	桜井市河西31 0744-44-2600	小・中
第11	奈良県中央教科書センター (県立教育研究所)	磯城郡田原本町秦庄22-1 0744-33-8900	小・中・高 ・特
	磯城・高市郡教科書センター (川西町教育委員会事務局)	磯城郡川西町結崎32-1 0745-44-2684	小・中
第12	大和高田教科書センター (大和高田市立図書館)	大和高田市西町1-45 0745-52-3424	小・中
第13	五條教科書センター (五條市立図書館)	五條市本町1-1-5 0747-22-4133	小・中
第14	御所教科書センター (御所市立図書館)	御所市13 0745-65-2580	小・中
第15	香芝教科書センター (香芝市民図書館)	香芝市藤山1-17-17 0745-77-1600	小・中
第16	葛城教科書センター (葛城市立新庄図書館)	葛城市南藤井70-1 0745-69-4646	小・中
第17	北葛城教科書センター (広陵町役場庁舎)	北葛城郡広陵町南郷583-1 0745-55-1001	小・中
第18	吉野教科書センター (吉野町立吉野小学校)	吉野郡吉野町上市2298 0746-32-4333	小・中
	吉野教科書センター川上分館 (川上村立川上中学校)	吉野郡川上村人知270 0746-52-0014	小・中
	吉野教科書センター十津川分館 (十津川村立十津川第一小学校)	吉野郡十津川村小原707 0746-62-0034	小・中
	吉野教科書センター下北山分館 (下北山村立下北山小学校)	吉野郡下北山村寺垣内1002 07468-6-0304	小・中
	吉野教科書センター野迫川分館 (野迫川村山村振興センター)	吉野郡野迫川村北股97-2 0747-37-2101	小・中

各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

】 殿

奈良県教育委員会教育長

令和元年度奈良県図画工作・美術教育研究会総会  
の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係職員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

図画工作・美術教育に関する指導についての理解を深め、今後の教育活動に役立て、図画工作・美術教育の一層の充実を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県図画工作・美術教育研究会

3 期日及び会場

令和元年5月31日（金）

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄22-1

4 参加対象者

県内小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の教員

5 日 程

14:00～14:45 総会

14:50～16:20 講演

16:20～16:30 閉会行事

6 講 演

演題 「全国大会から新しい奈良をひらく」

講師 畿央大学 教授 西尾 正寛

7 参加申込み

平成31年4月4日付け週報2314号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、令和元年5月24日（金）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

奈良市立京西中学校 教諭 久保 慶議

FAX 0742-45-9406

各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度第 1 学期奈良県算数数学教育研究発表会 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

学習指導要領のねらいの一層の実現を図るため、算数・数学教育の指導内容や指導方法についての研修を深め、指導力の向上に資する。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県算数数学教育研究会

#### 3 期日及び会場

令和元年 6 月 2 7 日（木）

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄 2 2 - 1

#### 4 参加対象者

県内小学校、中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の教員

#### 5 日 程

##### （1）小学校部会

1 3 : 1 5 ~ 1 3 : 3 0 開会行事

1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0 研究発表

1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 5 5 平成 3 0 年度算数テストの結果と考察及び指導事例報告

15:55～16:00 閉会行事

(2) 中学校部会

13:15～13:30 開会行事

13:30～15:55 研究発表

15:55～16:00 閉会行事

6 内 容

(1) 小学校部会

ア 研究発表

研究内容及び発表者	指導助言者
○「量感を育む～2年生の実践を通して～」 天理市立前栽小学校 真田 拓弥	天理大学 教授 上田 喜彦
○「算数科における批判的思考力の育成に関する研究」 橿原市立金橋小学校 竹田 隼也	

イ 平成30年度算数テストの結果と考察及び指導事例報告

報 告 者	指導助言者
<低学年部会> 1年生 大和郡山市立矢田南小学校 小橋 美之 2年生 広陵町立広陵東小学校 松本 奈都美	桜井市立纏向小学校 校長 堀川 一郎
<中学年部会> 3年生 五條市立北宇智小学校 田村 幸寛 4年生 葛城市立當麻小学校 横田 典明	
<高学年部会> 5年生 天理市立前栽小学校 中尾 圭吾 6年生 生駒市立生駒台小学校 福岡 寛之	天理大学 教授 上田 喜彦

(2) 中学校部会

研究発表

研究内容及び発表者	指導助言者
○「深い学びを実現する授業づくりと実践報告」 広陵町立真美ヶ丘中学校 西川 幸佑 與倉 あゆみ ○「統計の授業実践～高校の探究を見据えて～」 奈良県立青翔中学校 家治 浩之助	県教育委員会事務局 学校教育課 指導主事 北村 貴之

7 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、令和元年6月14日（金）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

香芝市立真美ヶ丘西小学校 教諭 菊谷 勝哉

FAX 0745-79-2160

なお、小学校部会の参加者は、平成30年度会誌を持参すること。

各市町村教委教育長  
各 中 学 校 長  
各 中 等 教 育 学 校 長  
各 特 別 支 援 学 校 長

】 殿

奈良県教育委員会教育長

## 第 4 1 回「少年の主張」奈良県大会～わたしの主張 2 0 1 9 ～ の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、発表原稿の応募及び発表大会への参加について、よろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

取り巻く環境が大きく変化する現代社会において、次代を担う子どもたちに、広い視野、柔軟な発想、創造性、物事を論理的に考える力、自分の主張を正しく伝える力などを身に付けさせるとともに、大人自身が子どもたちの声を真摯に受け止める契機とする。

#### 2 主 催

奈良県、奈良県教育委員会、奈良県子ども・若者支援団体協議会  
独立行政法人国立青少年教育振興機構

#### 3 対 象

県内の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にある者  
(国籍は問わないが、日本語で発表できること。)

#### 4 発表原稿の募集

##### (1) 主張内容

次の①～③のいずれかの内容で、心からの思いや考えたこと、感銘を受けたことなどを、少年らしい自由でユニークな発想をもって飾り気のない言葉でまとめたもの

- ① 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。
- ② 家庭、学校生活、社会（地域活動）、身の回りのことや友達との関わりなど。

③ テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。

なお、商業的な固有名詞の使用は極力避けるようにすること。(悪い例：〇〇県にある〇〇旅館 良い例：〇〇県にある旅館)

## (2) 応募方法等

### ア 応募原稿

(ア) 縦書き、A4判400字詰原稿用紙4枚程度(1,400字～1,800字程度)とする。

(発表時間は1人4分30秒以上5分30秒未満になるよう留意すること。)

(イ) 原稿は本人の自筆(HBより濃い鉛筆を使用)に限る。自筆によることが困難な場合は、この限りでない。

(ウ) 原稿の1行目にタイトル、2行目に学校名及び学年、3行目に氏名を書くこと。

(エ) 別紙様式による応募票を作成し、原稿1枚目の上部にホチキスで留めること。

(オ) 応募は、1人1点とし、未発表のものに限る。

(カ) 各学年の応募は、20名以内とする。

(キ) 応募原稿は返却しない。

### イ 応募期間

令和元年6月3日(月)～令和元年7月17日(水)必着

### ウ 応募方法

応募原稿は、個人若しくは学校・団体で取りまとめの上、下記宛てに送付すること。

なお、学校・団体で応募する際には、別紙応募取りまとめ票に記入すること。

〒630-8501 奈良市登大路町30

奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課内 「少年の主張」係

TEL 0742-27-8615

## 5 原稿審査及び発表者の決定

(1) 別に定める審査要領により原稿審査を行い、10点の入賞作品(発表作品)を選定し、発表者を決定する。

(2) 発表者には、後日、学校を通じ本人宛てに通知する。

## 6 発表大会

(1) 日時 令和元年9月8日(日)午後1時30分～午後4時20分

(2) 会場 香芝市ふたかみ文化センター 市民ホール(香芝市藤山1-17-17)

(3) 内容 入賞者による発表、表彰等

(4) 全国大会への推薦

発表作品のうち最優秀賞1点を選定し、令和元年11月中旬に東京で開催される「少年の主張全国大会」発表候補作品として推薦する。

この部分をホチキスで原稿用紙に留めてください。

第四十一回「少年の主張」奈良県大会

～わたしの主張2019～

応募票

応募原稿のタイトル

応募者氏名

ふりがな

学校名（団体名）

学 年

性 別

年

男 ・ 女

\*応募票の用紙は、A4サイズでお願いします。  
(この用紙をコピーして御利用ください。)

# 第41回「少年の主張」奈良県大会～わたしの主張2019～

## 応募取りまとめ票

学校名（団体名）： \_\_\_\_\_

	応募生徒数 (各学年20名以内)	取り組んだ 生徒数
3年生	名	名
2年生	名	名
1年生	名	名
合計	名	名

御担当者氏名： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_

FAX： \_\_\_\_\_

※応募取りまとめ票は、必要事項を記入の上、原稿とともに青少年・社会活動推進課宛てに提出願います。

※学校又は団体で選考した後に応募する場合は、取り組んだ生徒数を「取り組んだ生徒数」の欄に記入願います。

※本大会又は応募に関する連絡及び問合せは、担当者様宛てにいたします。

各市町村教委教育長  
各中学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

】 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度奈良県中学校理科教育研究会 研究総会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

生徒が主体的に取り組む学習を目指した授業の研究及び研究発表を通して、教員の指導力の向上を図り、併せて理科教育の振興・充実に役立てる。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県中学校理科教育研究会

#### 3 期日及び会場

令和元年6月14日（金）

生駒市立鹿ノ台中学校

#### 4 参加対象者

県内中学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の教員

#### 5 日 程

12:25～12:30 日程説明

12:30～13:40 総 会

13:50～14:40 公開授業

14:50～15:15 ブロック別研究協議

15:20～15:50 研究協議

16:00～16:20 指導助言とまとめ

16:20～16:30 閉会行事

## 6 内容

### (1) 公開授業

学 年	単 元 名	指 導 者
第2学年	化学変化と原子・分子	村田 由紀子
第3学年	生命の連続性	河内 淑恵

### (2) 研究協議

協議題 奈良県公立高等学校入学者選抜学力検査問題と中学校における理科教育について

### (3) 指導助言者

奈良教育大学 教授 森本 弘一

奈良教育大学 教授 石井 俊行

県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 長田 真範

県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 富倉 勇

## 7 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、職名、氏名を記入の上、令和元年6月4日（火）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

斑鳩町立斑鳩南中学校 教諭 太田 重浩

FAX 0745-74-5978

各市町村教委教育長 }  
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 管理職対象アンガーマネージメント研修会の開催 について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者に周知されるとともに、参加についてよろしくをお願いします。

### 記

#### 1 目 的

教員の児童生徒に対する理解を深め、問題行動等に対する予防的視点に立った支援や、きめ細かな個別の支援を充実させるためにアンガーマネージメントの手法を活用して、学校全体として統一された系統性のあるプログラムの構築と実践の推進を図る。また、学校全体でアプローチを行うことで、全教員が適時適切な指導と支援が行える体制の構築を目指す。

#### 2 日 時

令和元年 6 月 1 3 日（木） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

#### 3 場 所

県立教育研究所 大講座室 磯城郡田原本町秦庄 2 2 - 1

#### 4 対象者

県内小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校のアンガーマネージメント研修未受講管理職

#### 5 日 程

9 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0 受付

1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 1 0 研修説明

1 0 : 1 0 ~ 1 2 : 0 0 研修

「生徒指導におけるアンガーマネージメントの理解と実践

について」

6 研修講師

早稲田大学 教育学部教育心理学専修 非常勤講師

奈良県教育委員会スクールカウンセリングカウンセラー 小西 好彦

7 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、令和元年6月3日(月)までに下記宛てFAXで申し込むこと。

県教育委員会事務局生徒指導支援室生徒指導係

TEL 0742-27-5435

FAX 0742-27-1021

各市町村教委教育長  
各 中 学 校 長  
各 中 等 教 育 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度奈良県中学校体育連盟研究大会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

県内中学生の体力向上と健康増進を目的とし、スポーツを通して望ましい中学生を育むために、中学校体育指導者としての資質向上を図る。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県中学校体育連盟

#### 3 期 日

令和元年 6 月 2 0 日（木） 1 4 時 0 0 分～ 1 5 時 3 0 分

#### 4 会 場

田原本町立田原本青垣生涯学習センター 磯城郡田原本町大字阪手 2 3 3 - 1

#### 5 参加対象

県内中学校、中等教育学校の保健体育科教員及び運動部活動顧問、各中体連研究部員

#### 6 日 程

1 3 : 4 5 ~ 1 4 : 0 0 受付  
1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 1 0 開会行事  
1 4 : 1 5 ~ 1 5 : 1 5 講演  
1 5 : 1 5 ~ 1 5 : 3 0 閉会行事

7 講 演

演題 「今、部活動指導（外部指導者等含む）に求めること」

講師 草野 健次 氏

8 参加申込み

別紙様式により、令和元年6月10日（月）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。

〒639-0236 香芝市磯壁1丁目1058-2

香芝市立香芝中学校 松田 翔太

TEL 0745-77-3161

FAX 0745-76-4070

(別紙様式)

奈良県中学校体育連盟研究部 行

F A X 0 7 4 5 - 7 6 - 4 0 7 0

6月10日(月)までにファクシミリにて送信していただきますよう  
お願いします。

送付状は不要です。この用紙のみ送信してください。

**令和元年度奈良県中学校体育連盟研究大会申込書**

**【6月20日(木) 田原本町立田原本青垣生涯学習センター】**

参 加 申 込 書

学 校 名	氏 名

各市町村教委教育長  
各 小 学 校 長  
各 特 別 支 援 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和元年度奈良県小学校体育研究会前期研究大会の 開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

「豊かな『つながり』を大切にした、深い学びのある体育学習」を研究主題にすえ、小学校における体育教育の一層の充実を期するため、学校体育指導者としての資質の向上を図る。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校体育研究会

#### 3 期 日

令和元年 6 月 1 4 日（金）

#### 4 会 場

天理市立前栽小学校

#### 5 参加対象者

県内小学校及び特別支援学校小学部の教員

#### 6 日 程

1 3 : 5 0 ~ 1 4 : 3 5	公開授業
1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 0 5	開会行事
1 5 : 0 5 ~ 1 6 : 3 5	講演会
1 6 : 3 5 ~ 1 6 : 4 5	閉会行事

## 7 公開授業

学年	領域及び題材名	場 所	指導者
第2学年	走・跳の運動遊び 「とびとび 大ぼうけん！」	運動場	藤原 実都 堀 幸子
第4学年	表現運動 「行こう！ マリンワールド」	体育館	福住 慶子 藤本 純也
第6学年	保健 「からだを守ろう」	6年3組	深井 一臣 中西 惇

\*雨天時は、運動場での公開は中止する。

## 8 講 演

演題 「パフォーマンス分析から考える運動指導」

講師 京都教育大学 准教授 小山 宏之

## 9 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、職名、氏名、担当学年等（(A)項目欄）を記入の上、5月31日（金）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

〒635-0822 奈良県北葛城郡広陵町平尾542

広陵町立広陵西小学校内 大住 奈美

TEL 0745-55-2388

FAX 0745-55-6838